

ルクセンブルク経済・金融情勢（2020年3月）

1 統計関連

- 2020年3月のインフレ率は年率0.86%（前月1.68%）（4月3日付統計局プレスリリース）
- 2020年2月の失業率は5.5%（前月5.5%，前年同月5.2%），3月の失業率は6.1%（前年同月5.4%）（4月20日付統計局及び職業安定所プレスリリース）
- 金融格付け会社である Fitch 社と DBRS 社は、当国をトリプルエー（AAA）と格付けた。（3月9日付 Le Quotidien 紙及び Luxemburger Wort 紙）
- 当国統計局（Statec）によれば、当国の GDP 成長率は2024年まで3%から2%にまで低下すると同時に、失業率は2019年の5.4%から6.3%に上昇する。現在、毎月1000件の雇用が創出されているが、この3.7%という雇用創出レートは1.4%にまで半減すると見込まれている。Statec は、ユーロ圏では2021年から緩やかな、経済成長が再開するという Oxford Economics が出した予測を用いている。（3月13日付 Luxemburger Wort 紙及び Tageblatt 紙）
- 当国中央銀行（BCL）によれば、当国で住宅を保有している世帯は、2014年から2018年で17%の財産増加が見られ、平均897,000ユーロになった。なおこれは、全体の3分の2の世帯を指す。（3月17日付 Luxembourg Times 紙及び Luxemburger Wort 紙）
- 当国居住者の失業者数は2020年2月29日時点で、前年より7.4%増加し、16,652人となった。（3月21日付 Le Quotidien 紙）
- 当国保険業界も、新型コロナウイルス感染症によって大きな影響を受けている。例えば、一般的には保険でカバーされているスポーツイベントは、現在全て中止されている。また、経済活動の停滞はすなわち新しい契約が結ばれない事を指している。（3月30日付 Luxemburger Wort 紙）
- 当国証券取引所は今のところ新型コロナウイルス感染症の状況に上手に適応している。98%の従業員が在宅勤務を行っている。当国証券取引所は何よりも、過去14日間で上昇傾向にある債券を取り扱っている。（3月31日付 Luxemburger Wort 紙）

2 政府等関連

- Diekirch 市は、空き地に対する土地税を2021年1月より、従来の年190ユーロから年3800ユーロに、20倍の値上げをする事を決めた。これは不動産不足を解消する目的がある。（3月3日付 Luxembourg Times 紙）（往電第237号）
- Wintrange 付近に当国で最高パフォーマンスを誇る風力発電所が開かれた。この風力発電所のみで、当国の風力発電量の20%をまかなう。今後、Garnich, Dahlem, Redange, 及

び Mullerthal 自治体での風力発電所を設立するためのプロジェクトが計画されている。(3月4日付 Luxemburger Wort 紙)

● 当国は北大西洋協力機構 (NATO) の NAOS 宇宙観測プログラムの枠組みの一部として高価な軍事用衛星を受け取る予定。(3月31日付 RTL.lu 電子版)

3 企業関連

● バッテリーケース製造会社の Accumalux 社は、自社の製造対象を広げる事を決定した。これは、自動車産業からの需要が下がったことに起因する。同社は、過去10年間、プラスチックをリサイクルしたものでバッテリーケースを製造しており、循環型経済を実現させてきた。(3月3日付 Luxemburger Wort 紙)

● カーゴルクス社は創設50周年になった。同社は航空貨物運搬会社として、上位10位以内に入る規模を誇っており、ヨーロッパ内では最大手となっている。(3月4日付 Luxemburger Wort 紙)

● RTL グループは収入が66.5億ユーロとなった。純利益は11.6億ユーロで、投資額が高い割にはあまり変化のない数字となった。当国内の再構築とドイツへの一部の業務移転にかかったコストは1700万ユーロである。(3月14日付 Luxemburger Wort 紙)

※ 当国政府の公開資料や各種報道などの公開情報を取りまとめたもの。